

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



校長室の生け花

有田っ子の焼き物を鑑賞しました！

前回号でお知らせしました、「第19回 やきもの展」を翌日、全学年の子ども達が鑑賞しました。自分の作品以外のやきものをじっくり見たり、作者のコメントを読んだりしていました。1年生が6年生のやきものを見て、「これ、じょうずかね。さすが6年生よ。」とつぶやき、その作者である6年生の本人が誇らしくしている姿を見ると、微笑ましく良い鑑賞だと思いました。保護者の中にも、当日の夕方、ご覧頂いた方々がいらっしゃって、有田っ子のやきものに見入っておられました。この取組が有田小の特長の1つとなり、これからも続いていくことを願っています。やきもの先生方、PTAの伝統文化部の方々のお力添えに感謝します。ありがとうございました。これからも宜しくお願いします。



1年生のやきものを見る6年生



自分たちのやきものを見る1年生



3年生のやきものを見る5・6年生



下級生と上級生がともに鑑賞



6年生の作品に驚く1年生



5年生の作品に夢中の1年生

学校裏門の車止め看板を新調しました！

1月の爆弾低気圧による強風で、赤絵町方面から運動場に入る裏門の車止めが、老朽化もあり壊れてしまいました。それを、本校の用務員の久保田さんと、事務員の田嶋さんによって、手作りで新品同様の立て看板に蘇りました。学校敷地内の安全や美化を保つため、車両侵入禁止やペットの散歩マナーをお願いしています。ご理解とご協力を今後とも宜しくお願い致します。



有田っ子、スピーチが上手になっています！

学校だより 32 号でお伝えしましたように、子ども達が自信をもって人前で話すことが出来るように全校で取り組んでいます。2 月は、担任が他の学年を参観に行く間、子ども達だけでスピーチを行っています。9 日（火）は、低中高学年の担任が総入れ替わりで参観しました。それぞれの学年に応じて、子ども達が話したい聞きたいという雰囲気が見られました。また、子ども達のスピーチの内容が、これからの進学や学校生活をより良いものにしたいという前向きなものでした。



がんばっていることを話す 1 年生



友だちのスピーチについて話す 2 年生



楽しかったことを話す 3 年生



こんなものがあつたらについて話す 4 年生



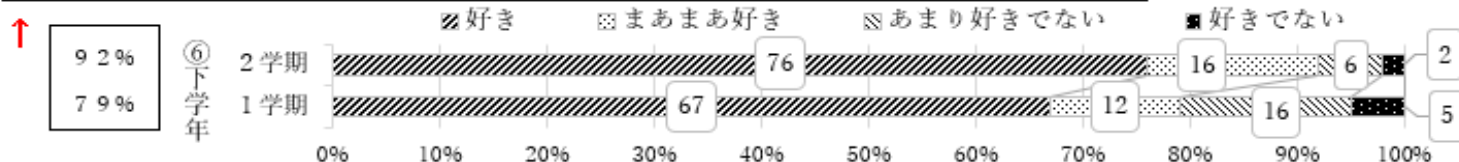
友だちのスピーチについて質問する 5 年生



中学校に進学する自分について話す 6 年生

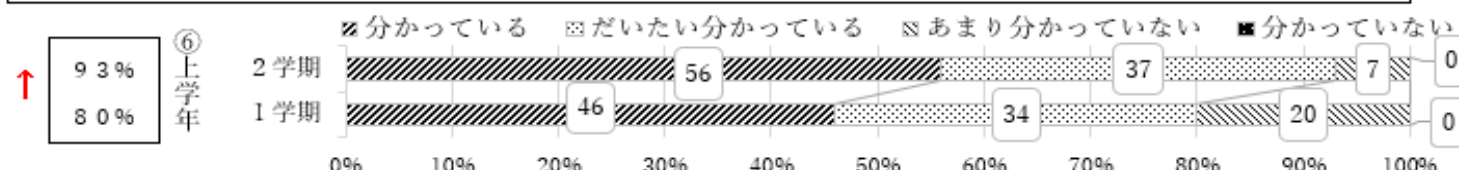
スピーチが基本、一人で話す「独話」に対して、授業では話し合う「対話」に取り組んでいます。その話し合うことについて、子ども達の意識調査の結果をお伝えします。各学年で、いろいろな場面で話し合いが行われています。1 学期の調査と比べ、2 学期は子ども達が話し合うことに対して積極的で、目的をもっていることが伺えます。これからもスピーチと話し合い、どちらも大切なコミュニケーション能力ですので、話したい、聞きたい、話し合いたいと思う有田っ子をめざします。

(下学年) 授業の中で、友だちとの話し合いをすることは、好きですか。



・ 2 学期は「好き」「まあまあ好き」の合計の割合が、1 学期より 13% 高くなり、92% だった

(上学年) 学習の中で、なぜ友だちとの話し合いをするのか、目的が分かっていますか。



・ 2 学期は「分かっている」「だいたい分かっている」の合計の割合が、1 学期より 13% 高くなり、93% だった